

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-1 子育て期の支援

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0704		子ども総合支援センターの充実 子育てに関する相談・情報等を総合的に扱う子育て・子育て施策の拠点として整備した、こどもの発達センターと子ども家庭支援センター機能を併せ持つ施設である「子ども総合支援センター」の一層の充実を図っていく。支援コーディネーター（専門相談員）を配置し、支援を必要とする児童・家庭に対する相談やトータル的な支援を実施する。支援にあたっては、子どもが地域の中で育つことを基本とし、各部署の連携を強化するためのコーディネート機能を持って、地域子育て支援センター等の関係部署との連携を強化する。また、虐待などの要保護児童の早期発見や適切な保護を行うために、関係機関との連携や情報共有を強化し、虐待防止に関する取り組みを充実する。		子ども家庭支援センター	継続	・関係機関との連携会議や、要保護児童対策地域協議会を通し、要支援家庭や、被虐待児童の保護・支援等を行った。 ・こどもの発達センターと子ども家庭支援センターのどか間で連携を図り、支援にあたった。
0702	1 重- 11	(再掲)4-1-2	継続	保育課	実施	保育園児、及び子育てひろば事業参加者等において、要保護児童を早期発見するため日常の保育をつぶさに観察しながら疑わしい場合は、すみやかに関係機関と連携しながら虐待防止に関する取り組みを行った。
0605				健康課	継続	定例会、個別のケース会議、連絡等を通じて連携に努めるとともに相互の役割について確認を行いつつ、支援が途切れないように努めた。
0702	2 重- 12	公立保育園のブロック化とサービス内容の見直し 地域子育て支援センターを併設した基幹型保育園を中心としたブロック編成を整備し、5園とする。また、公立保育園における障害児の通所型保育や特定保育を検討し、障害児の入所型保育、延長保育、一時保育、地域の親子を中心としたひろば事業充実を図る。	継続	保育課	実施	平成25年4月より民間委託になったひがしふしみ保育園が、一時保育を実施し、実施園が1園増加した。 また、在園している乳幼児及び入園の必要が認められる乳幼児のうち、保育の実施の際に特に健康上配慮を要する児童の健康管理に関する事項について総合的な見地から協議・検討を行う健康管理委員会を要綱設置した。
0702	3 重- 12	地域子育て支援センターの設置・拡充 地域の子育て支援の拠点として、地域子育て支援センターを拡充する。この施設には、地域の子どもと子育て家庭に対応する支援コーディネーター（保育士等）を配置する。また、支援コーディネーターは地域ブロックの中心的役割として、関係施設・機関と連携を図る。	継続	保育課	実施	・5か所の地域子育て支援センターにおいて ①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ②子育て相談・援助 ③地域の子育て関連情報の提供 ④子育て及び子育て支援に関する講習会の実施等の活動 以上の①～④を実施した。
0702	4 重- 12	保育・地域支援の質の確保と向上 保育園における支援コーディネーターの充実を図り、良質な保育サービスの提供や支援コーディネーターとしての質の向上をめざす。	継続	保育課	実施	認証保育所と基幹型保育園の連絡会を実施した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-1 子育て期の支援

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0703	5 重-3	<p>児童館の再編成と機能の充実(再掲)</p> <p>施設の建替えや改修を計画的にすすめる。児童館を、乳幼児・障害児・中高生等の多様なニーズに応じていくため、地域や役割ごとに機能を特化・充実させ、夜間や休日にも利用できるなど、魅力ある児童館へ再編成していく。</p> <p>同時に、運営方法についても子ども参加を促進したり、民間活力を導入する。子ども自身からの相談を受け止める児童館としての特性を十分に活かし、相談事業をより一層推進していく。</p> <p>◆詳細は、1-1-2に同じ（再掲）1-2-2、4-4</p>		児童青少年課		
0103	6 重-9	<p>子育て家庭への情報提供の充実(再掲)</p> <p>市報、市のホームページ、パンフレット、リーフレット、機関誌などを通じて、子育てNPO・グループや幼稚園・保育園・学校などの子育て情報を充実する。</p> <p>◆詳細は、3-2-2-(4) に同じ</p>		秘書広報課		
0702				保育課		
0701				子育て支援課		
1999				関係各課		
0702	7	<p>乳幼児とふれ合う場づくりの推進(再掲)</p> <p>小・中・高校生と乳幼児とのふれ合い活動や、遊びのボランティア、ベビーシッター活動を通じて、異年齢の子どもたちの交流をすすめる。保育園や幼稚園などが主催する行事に、小学生・中学生・高校生などが参加できるように促進する。小学校・中学校・高校の授業等の中で、幼稚園や保育園の訪問やボランティアなどを推進する。</p> <p>◆詳細は、2-1 に同じ（再掲）3-2-2-(2)</p>		保育課		
1503				教育指導課		
0701				子育て支援課		
0702	8 重-13	<p>一時保育の充実</p> <p>リフレッシュ型の一時的保育希望にも対応できるように、公立保育園での一時保育の実施を拡充する。増大するニーズに対応できるように、民間活力の導入や施設整備計画とも連動して事業を実施する。一時保育の利用手続きを簡略化し、より利用しやすいものにする。</p>	継続	保育課	実施	平成25年4月より民間委託になったひがしふしみ保育園が、一時保育を実施し、実施園が1園増加した。
0701	9 重-13	<p>病後児保育の充実</p> <p>病気回復期の子どもを預かる病後児保育事業(市内2か所で実施)について、施設を活用した情報提供等の検討を含め、一層の充実を図る。病後児保育事業実施施設にコーディネート機能を付与し、送迎サービス等、家庭の状況に応じて最適なサービスを提供するネットワーク事業を検討する。</p>	継続	子育て支援課	実施	市内2箇所で開催している病児・病後児保育施設について、市民へのPR等を含め一層の充実を図る。
0702				保育課		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-1 子育て期の支援

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0701	10 重- 13	病児保育の実施 医療機関附置の病児保育室で病児を受け入れることを実施していく。	新規	子育て支 援課	実施	市内にある病後児保育室2施設のうち1施設にて病児の受け入れを実施した。
0702	11 重- 13	休日保育の検討 保護者の就業形態の多様化から、仕事と子育ての両立支援として、日曜日や祝日の休日保育の実施検討を推進する。	継続	保育課	検討	現在市内では、認証保育所1園が実施している。平成27年4月に開設する認可保育園で実施できないか検討する。
0704	12	ショートステイ事業の充実 児童養護施設における短期宿泊型保育事業について、地域のニーズに対応できるように、施設や他組織と連携を図りながら充実する。	継続	子ども家 庭支援セ ンター	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページのショートステイ事業のページを更新し、事業内容の詳細を掲載した。 ・年間延べ利用日数269日
0703	13	学童クラブ運営の充実 小学校4年生以上の保育は「遊びの学校」事業に移行し、小学校3年生までを現施設で保育することや、就労家庭・ひとり親家庭等の保護の必要な子どもの保育環境を整備すること、時間延長の検討、サービスの充実を図るための運営のあり方について見直していく。 環境が整備された学童クラブ施設の開放を基本として、午前中は乳幼児とその保護者のために開放し、子ども同士の遊び場や保護者たちの仲間づくりを支援する。 また、老朽施設の改善と事業内容を充実するため、施設整備をすすめる。	継続	児童青少 年課	検討	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の統廃合に伴い、関連する学童クラブの整備を進めた。 ・子ども・子育て支援新制度に伴う諸課題の検討を行った。
0704	14	ファミリー・サポート・センター事業の充実(再掲) 仕事と育児の両立や、在宅で子育てをしている家庭への支援の環境整備の一環として、保育ニーズに対応した相互支援体制を充実するため、ファミリー・サポート・センターに関する情報をわかりやすく提供する方法、利用規則の改善や障害児利用の充実、サポート会員の養成プログラムの内容および方法の充実を総合的に再検討する。 市内施設(保育園・幼稚園・学童クラブ等)と連携して、不安なくファミリー・サポート・センターを利用できるようになるための広報を実施する。 ◆詳細は、3-2-1 に同じ		子ども家 庭支援セ ンター		
2002	社会福祉 協議会					

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-1 子育て期の支援

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0704		出産直後及び里帰り出産後の支援の充実 「こんにちは赤ちゃん訪問」や育児支援ヘルパー派遣制度等を活用して、出産直後及び里帰り出産後の家事や子どもの世話などを支援するシステムを充実する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	「こんにちは赤ちゃん」事業を実施している部署と連携し、出産後で支援が必要な家庭の情報を共有した。
0605	15			健康課	継続	こんにちは赤ちゃん訪問の充実と、要支援家庭について早期に支援ができるように、子ども家庭支援センターとの連携をはかった。また、妊娠届の時点で把握できた相談や不安のある妊婦・家庭については、妊娠期から相談支援につなげ、安定して出産・育児ができるよう支援した。
0701		ホームヘルパー派遣事業の推進 育児や家事などの負担を軽減するため、ホームヘルパー派遣事業を推進する。 (再掲) 4-1-4	継続	子育て支援課	実施	ひとり親家庭へのホームヘルプサービス 11世帯 329回
2002	16			社会福祉協議会	実施	・住民参加型有償家事援助サービスとして、産前産後や育児者の体調不良時に家事援助などを提供する。
0704		在宅児への一時保育サービス等の充実 子どもが保育園や幼稚園へ通っていない子育て家庭が利用できる一時保育の拡充、子育て親子の交流の場の提供、子育て相談の充実、保育サービス情報の提供など、在宅で子育てをしている家庭への子育てサービスの充実を図る。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・母子保健、地域子育て支援センター、児童館、保育園等と連携を取りながら情報提供を図った。 ・子育て広場で誕生会や父親支援事業を行い、子育て広場に集うきっかけ作りを行った。
0702	17重-13			保育課	実施	平成25年4月より民間委託になったひがしふしみ保育園が、一時保育を実施し、実施園が1園増加した。
0703				児童青少年課	継続	各児童館における子育て支援に係わる事業を実施した。児童館と基幹型保育園との連携事業も定期的に実施した。保護者向けの情報提供の実施した。
0702	18重-13	保育園の入所枠の拡大 現在、市内保育園の待機児はほとんどが0～3歳児のため、既存の保育園での0～3歳児受入枠を拡充し、待機児の解消を図る。	継続	保育課	実施	平成25年7月 私立認可保育園1園(定員76名)開設した。初年度は0～4歳児の受入。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-1 子育て期の支援

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0702	19 重- 13	認証保育所等の拡充と保護者助成の充実 待機児解消のため認証保育所等の受入枠を拡大するとともに、保護者の負担を軽減するため保護者助成の充実を図る。	継続	保育課	実施	定期的利用保育施設の施設移転に伴い、定員を2名増とし、受入枠の拡充を図った。
0701	20 重- 13	私立幼稚園の預かり保育推進等の検討 待機児の解消を図るため、私立幼稚園の預かり保育推進等について検討する。	新規	子育て支援課	実施	西東京市内の私立幼稚園における預かり保育の拡充を図るため、幼稚園に対して補助金を交付
0701	21	就園奨励事業の推進 私立幼稚園での幼児教育の振興と保護者負担の軽減を図るため、就園奨励の充実・推進について、国、都に働きかける。	継続	子育て支援課	継続	国や都に説明会等において充実を働きかける。
0701	22	私立幼稚園運営助成の充実 私立幼稚園の運営助成の拡充について検討するとともに、国・都に働きかける。	継続	子育て支援課	継続	国や都に説明会等において充実を働きかける。
0701	23	駅周辺への乳幼児施設設置の検討 保護者の就労形態の多様化、通勤時間の増加などに配慮し、交通アクセスのよい場所への乳幼児の相談、一時保育、たまり場の設置を検討する。	新規	子育て支援課	検討	調査検討
0703	24	出前児童館の充実(再掲) 地域特性を考慮し、出前児童館事業を推進する。実施に際しては子ども参画を視点に入れ、学童クラブや学校との連携を深めながら内容の充実を図る。 ◆詳細は、1-2-2 に同じ	/	児童青少年課	/	/
0402		育児休業相談・支援事業の検討 育児休業の奨励や子育てに理解があり、子どもにやさしい職場環境整備を推進している企業を表彰し、その支援を検討する。		産業振興課	未実施	なし
0404	25		新規	協働コミュニケーション課	実施	企業へ「男女共同参画週間」のイベント周知や、西東京市男女平等情報誌「バリテ」の配布を行った。 第3次男女平等参画推進計画で、ワーク・ライフ・バランスの意識づくりを計画の重点課題のひとつとした。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-1 子育て期の支援

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0704	26	父親の育児参加の推進(再掲) 子育ての男女共同参画を推進するため、男性が育児休業や子育て休暇をとりやすい職場環境づくりや育児休業法の周知徹底、企業に対する啓発を図る。男性の育児や家事への参画を促すため、男性への学習機会や情報の提供を推進する。そのために、男性が参加しやすい企画や事業を、実施曜日や時間帯等を考慮しながら実施する。 ◆詳細は、3-1に同じ (再掲)3-2-2-(1)		子ども家庭支援センター		
0404				協働コミュニティ課		
1603				公民館		
0605				健康課		
0402	27	労働時間短縮(勤務時間短縮等の周知・支援)の推進(再掲) 家庭での子育ての重要性を認識し、家族と一緒に過ごす時間が多く持てるよう、労働時間の短縮についての企業啓発、さらには実施企業への支援を推進する。 ◆詳細は、3-1 に同じ		産業振興課		
0404	28	再雇用制度に対する情報提供の充実 出産・育児による離職者が、職場への復帰や再就職がしやすくなるように、雇用情報の提供を充実する。	継続	協働コミュニティ課	継続	育休前後の女性を対象とする、グループ相談会を実施し、17人参加。また、ママの幸せがしの女性学の3回講座を行い、50人参加。他に、父親の育児参加の支援講座を実施した。
0402				産業振興課	実施	第1回就職支援セミナー平成25年6月25～27日実施。セミナー参加者107人。保育サービス合計5人。 第2回就職支援セミナー平成25年10月22～24日実施。セミナー参加者131人。保育サービス合計7人。 女性のための再就職支援セミナー平成26年1月17日実施。セミナー参加者39人。保育サービス2人。 若者向け就職支援セミナー平成26年2月28日実施。セミナー参加者6人、個別相談3人。
0701	29	母子福祉資金貸付事業の推進 ひとり親家庭の子育て負担を軽減するため、母子福祉資金貸付事業を継続する。	継続	子育て支援課	実施	引き続き実施。
0701	30	国、東京都等の補助活用の推進及び制度変更等への対応 子育て支援にかかる国や都の補助制度等の活用を促進する。また、国、東京都等の制度変更等に対しては、必要に応じた子育て支援策を検討、実施する。	継続	子育て支援課	実施	引き続き実施。
1999				関係各課		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-1 子育て期の支援

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	22.4月組織改正	25年度	
					実績	具体的な取組内容	
0701	31	子どもの医療費の負担軽減 子どもの保健の向上と健やかな育成を図るため、子どもに係る医療費の一部を助成することによって子育て支援に資する。	継続	子育て支援課	実施	引き続き実施。	
0701	32	子ども手当の実施 国が創設する子ども手当を支給することにより、子育て期の親の経済的負担を軽減する。	新規	子育て支援課	実施	引き続き実施。	

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-2 障害のある子どもを育てる家庭の支援

				22.4月組 織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0704	1 重- 11	子ども総合支援センターの充実(再掲) 子育てに関する相談・情報等を総合的に扱う子育て・子育て施策の拠点として整備した、こどもの発達センターと子ども家庭支援センター機能を併せ持つ施設である「子ども総合支援センター」の一層の充実を図っていく。支援コーディネーター(専門相談員)を配置し、支援を必要とする児童・家庭に対する相談やトータル的な支援を実施する。支援にあたっては、子どもが地域の中で育つことを基本とし、各部署の連携を強化するためのコーディネート機能を持って、地域子育て支援センター等の関係部署との連携を強化する。また、虐待などの要保護児童の早期発見や適切な保護を行うために、関係機関との連携や情報共有を強化し、虐待防止に関する取り組みを充実する。 ◆詳細は、4-1-1 に同じ	継続	子ども家庭支援センター	/	/
0702				保育課	/	/
0605				健康課	/	/
0704	2 重- 15	相談から、フォローアップまでを行う事業の展開 相談からフォローアップまでを総合的に支援するため、子ども家庭支援センターに支援コーディネーター(専門相談員)を配置し、医療・福祉・教育機関と連携して、支援を必要とする子どもへのトータル的な支援を実施する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	発達支援コーディネーターを中心に、年間200件以上の電話や来所相談をおこなった。希望する幼稚園、保育園には42回の園訪問を実施し、タイムリーな相談支援を行なった。就学に際しても希望者全員に就学支援シートを作成し、特別支援学級、特別支援校に対しては児童の引継ぎを行った。
0605				健康課	継続	電話・来所の相談、また関係機関とも連携をとりながら相談支援の継続と充実を図るとともに、検討会等とおして地域の課題の共有に努めた。
0704	3 重- 14	障害のある学齢児の療育・リハビリ機能の充実 子ども総合支援センターでの療育・リハビリを提供する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	分室ひよっこでの身体機能訓練の利用者が少ないため、ひよっこでの訓練回数を月2回(半分)にして、その分ひよこぎでの訓練の回数を増やした。
0604	4 重- 14	障害のある子どもの療育・教育相談事業の推進(再掲) 電話・来所・巡回等、多様な形態での療育や教育に関する相談を推進する。早期から障害児の相談を受けるとともに、就学相談を適切にすすめられるよう、こどもの発達センター(子ども家庭支援センター)、幼児施設など関係機関とより一層の協力・連携を図る。就学後も、相談事業の継続と支援の充実を図る。乳幼児期からの成長過程に応じて、切れ目ない支援を実施できるよう制度改善を実施する。 ◆詳細は、3-2-2(3) に同じ	継続	障害福祉課	/	/
0704				子ども家庭支援センター	/	/
1505				教育支援課	/	/

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-2 障害のある子どもを育てる家庭の支援

				22.4月組 織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0702	5 重- 14	障害児保育の充実(入所型と通所型の障害児保育の充実と推進) 保育園での入所型障害児保育の充実及び通所型障害児保育の検討を推進する。また、学童クラブの利用の推進と、児童館での放課後活動事業を促進する。指導相談の充実に努める。	継続	保育課	実施	市内28園の認可保育園において、保育に欠ける障害のある子の受入を実施した。また、通所訓練施設と保育園の統合保育も行った。また、在園している乳幼児及び入園の必要が認められる乳幼児のうち、保育の実施の際に特に健康上配慮を要する児童の健康管理に関する事項について総合的な見地から協議・検討を行う健康管理委員会を要綱設置した。
0703				児童青少年課	継続	・児童館においてはノーマライゼーションの理念に基づき一般健常児同様にハンディキャップをもつ児童の受入れを行った。 ・学童クラブにおいては、引き続き小学6年生までの障害児の受け入れを行った。
0704				子ども家庭支援センター	継続	通所型障害児保育については、保育制度が大幅な見直しの最中にあり、検討するまでに至らなかった。
0701	6 重- 14	障害児の幼稚園入園に対する支援の推進 障害のある子どもの幼稚園入園や、入園後の支援を検討する。	新規	子育て支援課	検討	調査検討
0703	7 重- 14	障害児放課後活動としての常設場確保 障害のある子どもたちが、放課後や休日に充実した時間が持てるよう、放課後活動の常設場所の確保を検討する。学齢児対象としては、児童館での放課後活動を推進する。	継続	児童青少年課	検討	再編成に伴う児童館の運営方法の中で障害児の対応についての検討した。学童クラブとの関係性などの中で障害のある児童への基本的考え方について検討した。
0701				子育て支援課	検討	調査検討
0604				障害福祉課	継続	さざんかクラブは、市の障害児放課後対策事業として従前どおりの規模で実施した。また、平成26年度からは事業を民間の法人に委譲するとともに、児童福祉法上のサービス事業所に移行した。 ばんびは、補助制度の廃止に伴い、法内化を目指していたが、25年度、法内化を断念し、独自の活動を行うこととなった。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-2 障害のある子どもを育てる家庭の支援

				22.4月組 織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0701	8 重- 14	障害児のいる家庭へのホームヘルパー派遣事業の推進 障害のある子どもとその家族へ、必要に応じて介護及び家事ヘルパーを派遣し、子育て支援をする。	継続	子育て支援課	継続	25年度は障害児のいる家庭からの派遣依頼がなかったため、実績はなかった。
0604	9 重- 14	緊急入所事業の実施 障害のある就学児童とその家族を対象とした施設緊急一時保護事業を活用することにより、緊急時の支援をする。	継続	障害福祉課	継続	心身障害者(児)施設緊急一時保護事業実績 利用実人数22名、利用延べ日数202日
0604	10 重- 14	障害児を育てる親のレスパイトケア機能の実施 障害のある子どもを育てる親の負担を一時的に緩和すること(レスパイトケア)により、その後の子育ての活力を回復するため、短期入所事業や就学児童の日中一時支援事業を実施する。	継続	障害福祉課	継続	障害者総合支援法に基づき、短期入所事業や就学児童の日中一時支援事業を実施した。
1501	11 重- 14	特別支援教育の充実 障害のある児童・生徒の特別な教育的ニーズに応え、学校が、家庭や地域社会、関係機関と連携し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばす多様な教育を展開するよう努める。 中学校の通級制度を開設する。 小学校において巡回指導員、保護指導員配置事業を実施し、通常学級で学ぶ障害のある児童への対応を図る。	継続	教育企画課	継続	柳沢小学校、青嵐中学校に、知的障害学級・情緒障害学級(固定)を設置。 (平成26年4月1日開設)
1503				教育指導課	実施	東小学校に、情緒障害学級(固定)を設置。 (平成26年4月1日開設)
1999	12 重- 14	特別支援学校の充実及び市外にある特別支援学校への通学者に対する取り組みの充実 市外にある特別支援学校通学者やその保護者に、地域情報提供の充実と地域との結びつきを強める取り組みの充実を図る。	継続	関係各課		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-2 障害のある子どもを育てる家庭の支援

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0703	13 重- 14	障害者、異年齢世代との交流事業の推進 障害のある子どもも、健常児も、年齢に関わりなく交流することで、情報交換とノーマライゼーションの啓発を図る。	継続	児童青少年課	継続	児童館ではノーマライゼーションの理念に基づき、一般健常児同様にハンディキャップを持つ児童の受入れている。学童クラブでは引き続き障害児を受け入れ、健常児、障害児の隔てなく、異年齢での交流によるノーマライゼーションの啓発を行った。
0702				保育課	実施	市内28園の認可保育園において、保育に欠ける障害のある子の受入を実施した。また、通所訓練施設と保育園の統合保育も行った。また、在園している乳幼児及び入園の必要が認められる乳幼児のうち、保育の実施の際に特に健康上配慮を要する児童の健康管理に関する事項について総合的な見地から協議・検討を行う健康管理委員会を要綱設置した。
0704				子ども家庭支援センター	継続	毎月1回、しもほうや保育園児との交流会を行った。重度障害児及び自閉症児等は急激な状況変化に弱いため、事前予告をし、なるべく交流会をひいらぎ開催とした。年間を通し、園児とひいらぎ児童のペアを固定したことで、お互いに慣れ、交流を深めることができた。
0604				障害福祉課	継続	障害者週間の事業として、12月6日にアスタ2階センターコートにおいて、市内の障害者団体等の活動内容や作品の展示、手作り品の販売を行った。また、フレンドリーにおいて施設見学会や音楽会等の各種イベントを実施した。こうした、障害の有無や年齢にかかわらず交流する機会を設けることにより、ノーマライゼーションの啓発を図った。
0701	14 重- 14	障害児がいる世帯への手当(児童育成手当(障害手当)・特別児童扶養手当)の充実 児童育成手当、特別児童扶養手当の充実等、障害児がいる世帯への支援の充実を国や都に働きかける。	継続	子育て支援課	継続	引き続き実施

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-3 外国籍の子どもを育てる家庭の支援

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
1503	1	外国人や帰国児童・生徒への日本語指導の充実 外国人や帰国児童・生徒に対し、パンフレット等の配布による日本語講座の紹介、学校への日本語指導員の派遣事業、年間を通じて通級できる日本語適応教室の実施形態の見直しと利用促進を図る。	継続	教育指導課	実施	・校長からの依頼に基づき、日本語指導員の派遣を実施した。 ・日本語適応教室での通室による指導については、多文化共生センターとの連携を模索し、多文化共生センターが実施している子供日本語教室について協力した。
1503	2	個別に指導できる指導者の確保 学校での学習内容を個別に補助できる指導者の確保を推進する。	継続	教育指導課	実施	・西東京市多文化共生・国際交流センターと連携し、引き続き指導者の確保を図った。
0403	3 重-4	外国語パンフレット・冊子に関する情報提供の充実 既存の外国語のパンフレット・冊子等の情報提供を、外国人登録者数等の変化に応じて継続して整備する。	継続	文化振興課	実施	平易な日本語及び英語・中国語・ハングルによる生活便利帳を発行。4,000部。 市報から必要な情報を抜粋し、平易な日本語及び英語・中国語・ハングルで毎月1回「くらしの情報」を発行予定。毎月560部。
1999				関係各課		
1604	4	外国語本の整備の推進 外国語の絵本など、外国語の本の整備・提供を充実する。	継続	図書館	継続	図書館利用者のリクエスト対応および、日本語資料を原本とする英語絵本について、購入した。 外国語資料の整備を継続し提供していく。
0403	5	外国語の翻訳サービスシステムの充実 保育園や幼稚園、学校などから配布されるさまざまな資料や書類を、外国語に翻訳をするサービスを検討する。	継続	文化振興課	実施	外国人への相談会実施に向けた案内チラシの多言語翻訳を実施した。(対象は大人だが、子育てに関する相談も実施する)

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-1 子どもと家庭の支援

4-1-4ひとり親家庭の支援

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0701	1	母子自立支援プログラム策定事業の推進 母子家庭の生活の自立と安定のために母子自立支援プログラム策定事業を推進する。 就業支援・相談体制等、母子家庭が地域の中で安心して子育てができるよう支援していく。	継続	子育て支援課	実施	プログラム策定件数 23件 (うち面接2回以上 20件)
0701	2	ホームヘルパー派遣事業の推進(再掲) 育児や家事などの負担を軽減するため、ホームヘルパー派遣事業を推進する。	/	子育て支援課	実施	/
2002	◆詳細は、4-1-1 に同じ	社会福祉協議会		実施		
0701	3	母子家庭自立支援給付金支給事業の推進 母子家庭自立支援教育訓練給付金支給事業と母子家庭高等技能訓練促進費等支給事業を実施する。	新規	子育て支援課	実施	引き続き実施
0701	4	母子保護の実施 母子家庭の生活自立のための支援を実施する。	継続	子育て支援課	実施	引き続き実施
0701	5	ひとり親家庭等医療費助成事業の充実 ひとり親家庭等の親や子どもが通院又は入院による治療を受けた場合、費用の一部を助成する制度の充実を都に働きかける。	継続	子育て支援課	実施	引き続き実施
0701	6	母子家庭就学支度金貸付事業の充実 母子家庭福祉資金の就学支度資金貸付の充実を国や都に働きかける。	継続	子育て支援課	実施	引き続き実施
0701	7	児童扶養手当・児童育成手当(育成手当)の充実 児童扶養手当、児童育成手当の充実を国や都に働きかける。	継続	子育て支援課	実施	引き続き実施

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-2 保健・医療

4-2-1 母子保健体制の整備・充実

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
		新生児訪問等の推進				
0605	1 重- 15	「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施し、新生児・保護者の心身の状況及び養育環境の全件把握に努めるとともに、子育てに関する情報提供をおこなう。連絡が取れないすべての家庭に継続的に働きかけ、健康や発達等の状況を把握する。	継続	健康課	継続	連絡のとれない家庭への訪問を引き続き実施し、新生児の全件把握につとめた
		訪問型相談の充実				
0704	2 重- 15	「こんにちは赤ちゃん訪問」や健診未受診者及び必要な子どもについて実施している訪問型相談について、他機関や関係施設との連携を強化し、産後うつ・虐待などの未然防止・早期発見・解決と、子どもの成長発達の促進を図る。また、乳幼児の家庭への家事援助支援のしくみを構築する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	子育ての支援が必要と思われる家庭に対し、育児支援訪問事業を延68日実施した。
0605				健康課	継続	各種健診の未受診者の把握と地区担当フォローを充実した
0701				子育て支援課	検討	調査・検討
		母子保健と保育の連携強化				
0704	3 重- 15	新生児訪問や乳幼児健診などの母子保健事業と市内関係機関や施設との連携を強化し、妊娠から出産、子育て不安や小児疾患、障害、児童虐待、養育力不足などの要保護児童や家庭に対し、切れ目のない支援を実施する。 また、母子保健事業を子育て支援事業において統一に行えるよう、行政組織のあり方を見直す。	継続	子ども家庭支援センター	継続	要保護児童対策地域協議会実務者会議やケース検討会議を通じて、母子保健分野と基幹型保育園地域子育て支援センターと3者間で情報共有を行った。
0605				健康課	継続	母子健康手帳の配布に当たっては、市民の利便性は考慮しつつ、保健師が面接できる健康課窓口での交付を充実できるよう、周知に努めた。
0702				保育課	実施	関係機関との連携会議やブロック会議に保健師が参加し事業についての連携を深めた。また、母子保健と協力し離乳食講習会を実施した。母子保健も含めた連携の仕組みを検討した。
0701				子育て支援課	検討	検討

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-2 保健・医療

4-2-1 母子保健体制の整備・充実

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0605	4	母子健康手帳交付及び乳幼児健診の活用による母子保健の推進 地域における妊娠期からの切れ目のない支援を展開するために、母子健康手帳を地域子育て支援センター(基幹型保育園)などで交付することを実施に向けて検討する。また、乳幼児健診を活用した健康教育・相談、情報提供を推進する。また、健診内容の統一を図るためのマニュアル整備、他部門(子育て支援、社会教育、学校、保育園等)との連携の推進、受診しやすいしくみと受診率低下の防止、育児グループの開催等、多角的に事業を実施する。	新規・継続	健康課	継続	母子健康手帳の配布に当たっては、市民の利便性は考慮しつつ、保健師が面接できる健康課窓口での交付を充実できるよう、周知に努めた。
0702	保育課			検討	調査・研究	
0704	5	子育てに関する学習機会の充実(再掲) 妊産婦や乳幼児の健康増進のため、両親学級、育児学級注3)、各種の講習・講座・講演、健康教育・グループワークの機会や知識の普及、仲間づくりなどの内容を見直し、充実する。 新設した1歳児クラス・2歳児すくすくクラス事業の普及をさらに推進する。また幼児期だけでなく、思春期の子どもをもつ親に対する学習機会についても充実させる。 ◆詳細は、3-1 に同じ (再掲)3-2-2-(1)、3-2-2-(2)	新規・継続	子ども家庭支援センター		
0605				健康課		
1603				公民館		
0701				子育て支援課		
0704	6	育児・子育て相談事業の充実(再掲) 母子保健事業の育児相談の充実、とりわけ訪問相談の充実を図る。子ども総合支援センター、地域子育て支援センター、保育園、児童館など、多様な場所で行われることになる子育て相談事業との役割分担と協働を推進する。各機関での相談が断片的な内容になることを防止するため、関係機関の連携を実施する。 地域の子育て経験者(先輩パパ・ママ)による子育て相談の実施を検討するとともに、中高生やその保護者のための相談体制を充実する。 新生児期からの訪問や健診事業などにおいて連絡を取ることができなかった家庭に対しては継続的な働きかけを実施する。 ◆詳細は、3-2-2-(3) に同じ (再掲)3-2-2-(4)	新規・継続	子ども家庭支援センター		
0605				健康課		
0702				保育課		
0703				児童青少年課		
0605	7	予防接種についての普及啓発の充実 予防接種の重要性を啓発することで接種率を高め、乳幼児の健康を促進する。予防接種未接種者への勧奨を徹底する。	継続	健康課	継続	予防接種については、接種期間や内容等の情報提供に努めるとともに、感染症の流行について、ホームページで最新の情報を提供できるように努めた

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-2 保健・医療

4-2-2 医療

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0605	1	かかりつけ医の推進 1歳6か月児医科健診の個別化に伴い、母子保健とかかりつけ医との連携の重要性が高まっている。専門相談と個別支援が円滑におこなえるようなシステムを構築していく。	継続	健康課	継続	1歳6か月児健診の際、2歳児相談を勧奨していただき、相談体制の充実に努めた。
0605	2	かかりつけ歯科医の推進 1歳6か月児歯科健診の個別化に伴い、必要性が一段と高まった「かかりつけ歯科医」を推進するとともに、小学校・中学校の学校歯科保健を充実することで、子どものむし歯予防に努める。	継続	健康課	継続	1歳6か月児健診の際、2歳児相談を勧奨していただき、相談体制の充実に努めた。
1502	学校運営課			継続	・前年度同様に継続して実施（小・中学校91回実施）	
0605	3	小児救急医療体制の充実 北多摩北部医療圏との連携により、小児科医師のいる救急医療機関を確保し、小児救急医療体制の充実を図る。	継続	健康課	継続	・多摩北部医療センターで毎週月曜日～金曜日の週5日間実施 ・佐々総合病院で、毎週月曜日、水曜日、金曜日の週3日間実施
0605	4	産科のある医療機関とのネットワークの充実 市内外の産科のある医療機関との連携を強化し、母子の健康管理・養育支援を充実する。	継続	健康課	継続	保健所主催の周産期・思春期・学校保健の会議に出席し、情報収集や課題の共有に努めた
0605	5	保健所との連携強化による母子保健サービスの推進 保健所と母子保健担当部署等の連携・協働により、効率的・効果的なサービスを提供する。	継続	健康課	継続	各種連絡会、個別の機会を通して連携の継続・強化に努めた
0605	6	アレルギー相談の実施 乳幼児健康診査・育児相談等で寄せられる、子どものアレルギーに不安や悩みを持つ親からの相談に対し、適切な情報提供や栄養相談などの支援を実施する。	継続	健康課	継続	他各種健康診査、教育相談事業などを通じて、個別対応を基本に実施。必要に応じて、適宜継続支援もあり。事業以外では、電話相談もあり、ニーズに応じた情報提供や継続支援を行った。
0704	7	心身の思春期相談事業実施の検討 第二次性徴による心身の変化に対し、気軽に相談できる場の整備を検討する。	新規	子ども家庭支援センター	継続	・子ども家庭支援センターが子ども自身からの相談も受けている機関であることを周知するために、小学5年生・中学3年生にのどか携帯用カードを約4,000部、小学4年生以上中学3年生以下にリーフレットを約10,000部配布した。 ・市ホームページのキッズページに子ども家庭支援センターの案内を継続して掲載した。 ・市民まつりにて、のどか及び児童相談所のパンフレットを配布し、相談先についてのPR活動を行った。
0605	健康課			継続	からだと心の健康相談を継続。面接以外に電話相談を月～金曜日まで専用電話により保健師が直接対応した。	

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-3 教育

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	25年度	
				担当課	実績	具体的な取組内容
0404	1	子どものための消費者教育の推進 現在実施されている子どものための消費者教育の充実を図るとともに、中・高校生を対象にキャッチ商法などの事例を提示し、子どもへの啓発活動に努める。	継続	協働コミュニティ課	継続	消費生活展において親子を対象とした講座を実施した。小・中学校での消費生活にかかる出前授業活用について呼びかけ、1校で実施した。また、市民まつりでは子ども向けの「だまされやすさ心理チェック」を用意し、子どもたちへの啓発に努めた。
1503	教育指導課			実施	・都から配布されるリーフレット等を活用し、各学校の指導計画に基づき、社会科・家庭科等の授業等を通し消費者教育を推進した。	
0501	2	環境教育の推進 学校における総合的な学習の時間を中心に環境教育を実践し、みどりのカーテンづくりなどを通じて市内の自然環境への関心や保全への取り組みを推進する。 (再掲)4-4	継続	環境保全課	継続	「西東京市の環境」を2,000部発行し、市内小学校4年生に配布。
1503				教育指導課	実施	・東京都における「CO2削減アクション月間」は終了したため、全小学校では実施しなかったが、学校が個別に実施した。 ・緑のカーテンや、ごみの分別など各学校で実施した。
0403	3	国際理解教育の推進 我が国の伝統や文化を尊重し、外国の文化や芸術とのふれあいや外国人との交流を深めるなど、国際理解教育を推進する。	継続	文化振興課	実施	・6月16日 留学生ホームビジット ・8月28日 日本語交流バストリップ ・10月6日 「日本語スピーチコンテスト」 ・3月15日 「子ども対象 英語で楽しく！」
1503				教育指導課	実施	・総合的な学習の時間において、我が国の伝統や文化を尊重する学習、異文化に触れる学習及び外国人との交流を図った活動を学校の実態に応じて実施した。
1503	4	情報化社会に対応した子どものためのメディアリテラシー教育の推進(再掲) ◆詳細は、1-2-3 に同じ		教育指導課		
0403	5	人としての権利を尊重する教育の推進(再掲) 外国人や障害者・高齢者など、お互いの違いを認め合う意識を育む教育の推進と、すべての教育活動を通じた人権・障害者理解の取り組みを地域や学校で推進する。 関係部署の連携を強化し、各学校に中核となる教員を育成する研修実施等を推進していく。 ◆詳細は、1-1-1 に同じ		文化振興課		
0404				協働コミュニティ課		
1503				教育指導課		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-3 教育

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	25年度	
				担当課	実績	具体的な取組内容
1505	6	スクールカウンセラー派遣の充実と連携の強化（再掲） 中学校には、東京都のスクールカウンセラーが配置されているが、同様に小学校にも配置されるよう東京都に要請していく。また、小学校に派遣している心理カウンセラーとの連携を強化し連絡会を開催するなど、いじめや不登校等の問題に対応する体制づくりを一層推進する。 ◆詳細は、1-1-3 に同じ		教育支援課		
1501	7	西東京市教育関係者連絡会議の検討 公・私立学校の関係者を中心とした情報交換の場の設定など、公立、私立一緒の場で、西東京市における教育について、定期的に話し合う場を検討する。	新規	教育企画課	継続	公立学校は、校長会、副校長会等で情報交換を行った。私立学校に対しては、必要に応じて意見交換を行った。
0704	8	幼・保・小・中学校の交流・連携の推進 公立・私立の垣根を超えて、保育園や幼稚園、小学校、中学校との交流の機会を推進し、発達障害・要保護児童の支援に対する連携の強化と情報の共有化を図る。要保護児童対策地域協議会の場も有効に活用していく。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・西東京市私立幼稚園連絡協議会と子育て支援部共催で「「子育てから生まれる絆」～人生で一番嬉しい時間の過ごし方～」と題した講演会を実施した。参加者は373人であった。 ・幼稚園・保育園・小中学校の代表者が出席する要保護児童対策地域協議会実務者会議で要保護・要支援児童についての情報共有を行った。 ・市内の家庭的保育事業実施施設11施設を訪問し、要保護・要支援児童について情報共有を行った。
1505				教育指導課	実施	保育園や幼稚園、小学校、中学校との交流の機会を推進し、発達障害・要保護児童の支援に対する連携の強化と情報の共有化を図った。
0701				子育て支援課	調査・研究	各園において、地域の小学校との個別の連携をしているようである。
0702				保育課	調査研究	調査・研究
1601	9	地域の人材発掘・活用の推進（再掲） 子どもたちの地域での育ちを豊かなものにするため、さまざまな立場の市民が自分の経験や知識を生かして子どもたちに技や学びを伝えられるよう、地域人材の情報提供や、人材が活躍できる機会づくりを促進する。人材発掘と人材活用事業の推進を並行して実施し、都立高校との連携や小中学校対象の各種教室の開催等を引き続き実施する。 ◆詳細は、1-2-1 に同じ（再掲）3-2-1		社会教育課		
2002				社会福祉協議会		
2003				シルバー人材センター		
1999				関係各課		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-3 教育

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	25年度	
				担当課	実績	具体的な取組内容
1503	10	学校へのパソコン設置の充実 学校でのパソコン活用環境をインターネットに接続できたり、自主的に使用できる時間の確保など内容を充実するとともに、ネットワーク社会に対応できるような指導の充実を図るため、教員のICT環境の充実及び活用支援を実施していく。	継続	教育指導課	実施	<ul style="list-style-type: none"> 学校セキュリティポリシーの改訂作業を行うとともに、「西東京市教育情報化推進計画」について3年間の総括を行い、報告書を作成した。 引き続き、ICTサポート活用事業を実施し、「情報モラル教育」の更なる充実を図った。
1503	11	学校図書館の充実 各校の蔵書の更新・拡充を計画的にすすめ、地域の学習センター機能の充実を図るとともに、選書や運営等への子ども参加を推進する。	継続	教育指導課	実施	<ul style="list-style-type: none"> 相互貸借の研修会を実施し、システムに相互貸借管理を行った。 蔵書点検の実施の拡充を行い、図書の詳細な管理を行った。 学校図書館専門員連絡会を2回実施し、各校の取組について情報交換を行った。
1502				学校運営課	実施	図書購入費は各学校に配当し、児童・生徒の要望を取り入れ図書館の充実を図った。
1604	12	図書館事業の拡充 子どもたちの心の成長にとって大切な本への関心を図るため、読み聞かせ事業、所蔵図書の充実に努める。	継続	図書館	継続充実	<p>おはなし会ボランティア等の活用による図書館内でのおはなし会の充実</p> <p>職場体験、職場訪問、図書館見学、1日図書館員等の実施。</p> <p>図書館の推薦図書年齢リスト作成、学校配布。</p> <p>ひばりが丘図書館「ちいさなおはなしひろば」の増会。</p>
1503	13	図書館、学校図書館のネットワーク化の推進 図書館から学校図書館への本の貸し出し、図書館から学校への図書の情報提供など、地域の図書館と学校図書館の連携を推進する。	継続	教育指導課	実施	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館と公共図書館のネットワーク化を有効に活用し、司書教諭と図書館専門員を中心に連携を継続した。 公共図書館の貸出しや利用マナーの学習、公共図書館からの団体貸出しによる、図書の充実等を図った。
1604				図書館	継続充実	配本及び回収車の定期的な運行。(運行回数50回)団体貸出の実施。学校図書館専門員への支援。特に年度途中から入った方には、個別に対応し、説明を行った。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-4 子ども・子育て家庭のためのまちづくり

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	25年度	
				担当課	実績	具体的な取組内容
0703	1重-3	<p>児童館の再編成と機能の充実(再掲)</p> <p>施設の建替えや改修を計画的にすすめる。児童館を、乳幼児・障害児・中高生等の多様なニーズに応じていくため、地域や役割ごとに機能を特化・充実させ、夜間や休日にも利用できるなど、魅力ある児童館へ再編成していく。</p> <p>同時に、運営方法についても子ども参加を促進したり、民間活力を導入する。子ども自身からの相談を受け止める児童館としての特性を十分に活かし、相談事業をより一層推進していく。</p> <p>◆詳細は、1-1-2に同じ (再掲)1-2-2、4-1-1</p>		児童青少年課		
0703	2重-3	<p>「遊びの学校」事業の検討・実施(再掲)</p> <p>現行の小学校の校庭開放、地域生涯学習事業、出前児童館との連携を図りながら、放課後の子どもの安全・安心の活動拠点、居場所事業として「遊びの学校」事業を、国の「放課後子どもプラン」を視野に入れながら検討・実施する。</p> <p>実施にあたっては、地域の育成会や関連団体、地域市民の協力や参加を得ながら小学校施設を活用し、子どもが安心して集い・遊び・学べる場所とするためにプレイリーダーを配置していく。</p> <p>◆詳細は、1-2-2 に同じ (再掲)3-2-2-(2)</p>		児童青少年課		
1601				社会教育課		
0411		<p>防犯対策の充実(再掲)</p> <p>市内の公・私立学校関係者による連絡会の設置や合同パトロール・下校時間における防犯パトロールの実施、民生委員注1)・児童委員注2)、青少年育成会との定期的な協議と内容の充実を図る。</p> <p>また、不審者情報のネットワークづくりをすすめ、市内の犯罪発生状況に応じた各種情報を発信・共有するしくみを構築する。</p> <p>「できる人ができる時に・地域の目を光らせる見守り活動」を根付かせ、地域の防犯力を向上させることを通じて子どもへの見守りを強化する。</p> <p>防犯講演会などの啓発活動を実施して、防犯意識の高揚を図る。</p> <p>◆詳細は、1-2-1 に同じ</p>		危機管理室(警察)		
0703	3重-16			児童青少年課		
1503				教育指導課		
0703	4重-16	<p>子どもと子育て家庭の防災防犯安全を確保する事業の推進(再掲)</p> <p>災害が発生した際に子どもと子育て家庭への支援を実施する体制を整備する。</p> <p>子どもがふいに襲われたりしたときなどに逃げ込める家を公募し、ステッカーなどを貼ってもらい、子どもの避難所とする事業(子ども110番ビーボくんの家注1))を引き続き推進すると同時に、ビーボくんの家活動に対する市民の理解を得るための啓発活動を実施する。</p> <p>小学校区の地域単位に安全確保のための見守り活動の組織化を促進し、地域住民と子ども自身による通学路の安全点検活動を推進する。</p> <p>◆詳細は、1-2-1 に同じ</p>		児童青少年課		
0411				危機管理室		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-4 子ども・子育て家庭のためのまちづくり

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	25年度	
				担当課	実績	具体的な取組内容
1501	5重-16	通学路、通園路の安全確保の充実 子どもの通学路の交通安全施設の整備を充実するとともに、子どもの通学時の安全を確保するため、通学路の点検、交通擁護員や交通安全協力員の充実を図る。 大型土地開発等により変化する子どもの通学路の安全性に配慮し、交通擁護員の配置時間等の改善などを継続的に実施する。	継続	教育企画課	実施継続	通学時の安全確保のため、交差点等に交通擁護員を配置した。また、交通開放した都市計画道に交通擁護員を増員した。 要望のあった学校の通学路において、学校、保護者、道路管理者、田無警察署及び教育委員会による合同点検を実施し、安全対策を実施した。 小学校新1年生に防犯ブザーを配布した。
0804				道路管理課	継続	要望等により、カーブミラーの設置や路側帯内のカラー舗装化などの交通安全施設の設置を行った。
0702	6	園庭開放の推進(再掲) 乳幼児とその親の交流と遊び場づくりのため、保育園の園庭開放を推進し、一層の充実を図る。 ◆詳細は、3-2-2-(2) に同じ		保育課		
0703	7	屋外の遊び場の充実（再掲） 西東京市の環境における自然遊び場について検討する。公園の使用にあたっては、子どもの遊び支援グループなどと協働するとともに、プレイリーダーの派遣を推進する。 ◆詳細は、1-2-2 に同じ		児童青少年課		
0802			みどり公園課			
0802	8	身近にボール遊びのできる場所の検討(再掲) 身近にある公園や広場、校庭などが子どもにとって魅力的な場所になるよう、ミニバスケット、フットサルなど、気軽にできるスポーツの場の設置を推進する。 ◆詳細は、1-2-2 に同じ		みどり公園課		
1602			スポーツ振興課			
0703			児童青少年課			
0703	9	プレイリーダーの養成と活用(再掲) プレイリーダーの育成事業を実施する。また、小学校での「遊びの学校」事業や、地域の子どもの遊び支援グループなどに対する、プレイリーダー(子どもの遊びや活動の支援者)派遣事業を推進していく。また、中学生対象の遊びの事業を充実する。 ◆詳細は1-2-1に同じ (再掲)1-2-2、3-2-2-(1)		児童青少年課		
1601			社会教育課			
0703	10	地域の子育て意識の醸成(再掲) 個々の家庭、幼稚園・保育園、学校だけでなく、地域で子どもを育てるという意識を高めるための活動を、青少年育成会等と連携しながら推進する。 ◆詳細は、3-1 に同じ		児童青少年課		
0701			子育て支援課			

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-4 子ども・子育て家庭のためのまちづくり

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	25年度	
				担当課	実績	具体的な取組内容
1503	11	交通安全教育の推進 各校で年間の指導計画を作成している交通安全教育について、計画的に取り組むとともに、家庭教育との連携を図る。	継続	教育指導課	実施	・各学校において安全教育の年間指導計画の見直しを行い、取組の充実を図った。 ・小学校では、PTAと連携し交通安全指導や見守り活動を継続して実施した。 ・中学校では、スタントマンによる自転車安全教室を土曜日に実施し、地域の方が参加しやすいように努めた。
0806	12	コミュニティバスの充実 交通不便地域・バス空白地域等の解消や交通弱者の移動手段の確保に努める。	継続	都市計画課	実施	調布保谷線の開通に伴い民間路線バスによる運行を開始した。はなバスの安全性向上のため、順次ドライブレコーダーを導入し、また、8月に料金改定と同時にICカード導入を実施した。はなバス車内放送について児童による案内を検討
0501	13	環境教育の推進(再掲) 学校における総合的な学習の時間を中心に環境教育を実践し、みどりのカーテンづくりなどを通じて市内の自然環境への関心や保全への取り組みを推進する。 ◆詳細は、4-3 に同じ		環境保全課		
1503				教育指導課		
0701	14	子育てハンドブックの充実、子育て施設、遊び場マップ等の検討(再掲) 西東京市子育てハンドブックを充実させる。また、子どもたちが遊べる施設や場所等の情報を掲載した「子育て施設・遊び場マップ」について検討する。 ◆詳細は、3-2-2-(4) に同じ		子育て支援課		
0701	15	親子施設見学会の検討 市内にある公共施設や公園、運動施設等を広く知ってもらうため、親子がともに学べる見学会の開催を検討する。	新規	子育て支援課	検討	調査検討
1999				関係各課		
0701	16重-5	子どもに関わる制度や事業の評価推進 市で展開する子どもと子育て家庭に関する制度や事業について、計画の理念に照らし合わせた定期的な評価を、子ども福祉審議会を中心に実施し、質の向上を図る。	新規	子育て支援課	検討	調査検討